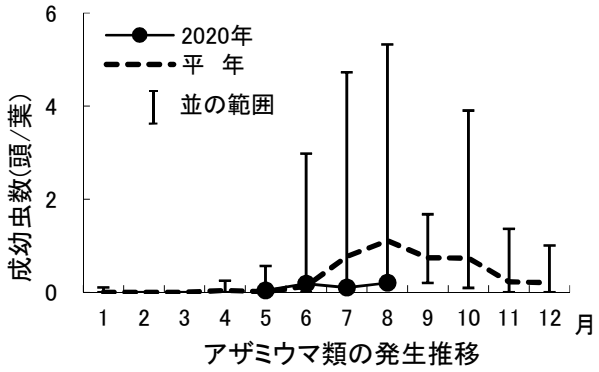
令和　2 年度　　9 月予報

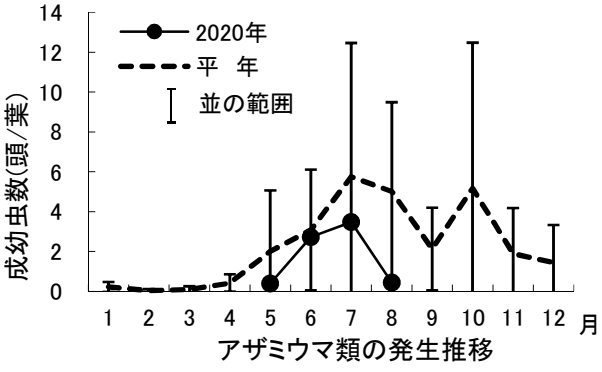
作物	マンゴー	地域	沖縄群島
病害虫名	① チャノキイロアザミウマ		
調査結果	8 月の発生量（平年比）	並	
予報	8 月からの増減傾向	↘	
	9 月の発生量（平年比）	並	
予報の根拠		平年の発生量の推移（↘）	

調査結果

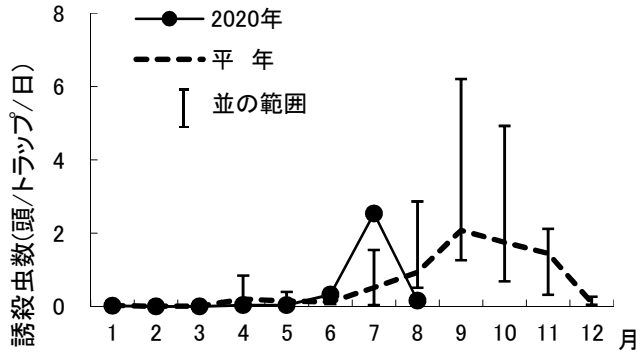
（見取り調査）　〈中央値〉



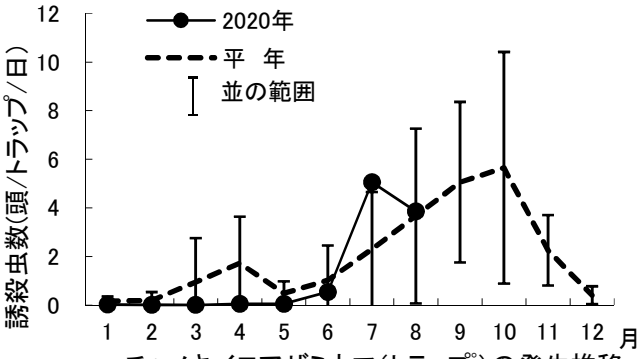
〈平均値〉



（トラップ調査）　〈中央値〉



〈平均値〉



・病害虫防除員報告：多発生（本島北部）

防除のポイント

・不要な新梢は本種の発生を助長するので、早い時期に除去する。
・収穫期に発生の多かった施設では、せん定終了後に薬剤による防除を行う。
・コミカンソウ類など、発生源となる施設内外の雑草を除去する。
・薬剤抵抗性を発達させやすいので、同系統薬剤の連用を避ける

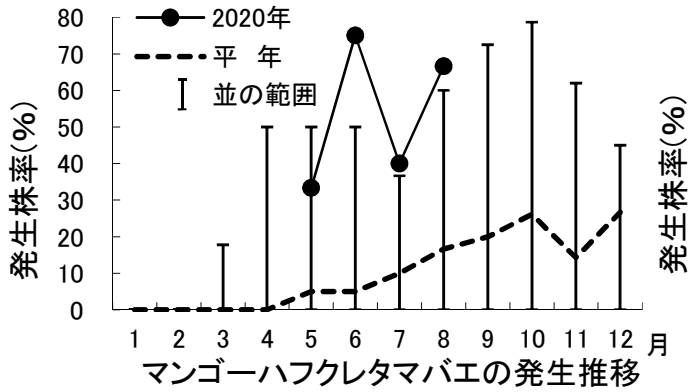
ナガエコミカンソウ

令和　2 年度　　9 月予報

作物	マンゴー		地域	沖縄群島
病害虫名	② マンゴーハフクレタマバエ			
調査結果	8 月の発生量（平年比）	やや多		
予報	8 月からの増減傾向	↗		
	9 月の発生量（平年比）	やや多		
予報の根拠		新梢の発生量が増加するため		

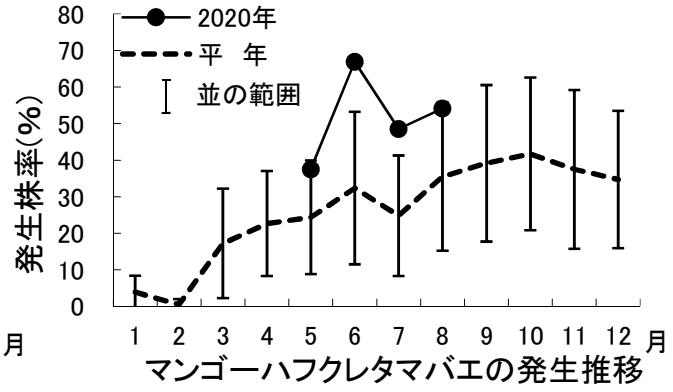
調査結果

〈中央値〉



マンゴーハフクレタマバエの発生推移

〈平均値〉



マンゴーハフクレタマバエの発生推移

- 被害新梢率：15.6%　（平年値：16.7%）
- 発生施設率：75%　（平年値：58%）

防除のポイント

・幼虫は、新葉から新梢の軸までの柔らかい組織内に潜行して食害し、成熟すると飛び出し、地面に落下して蛹化する。

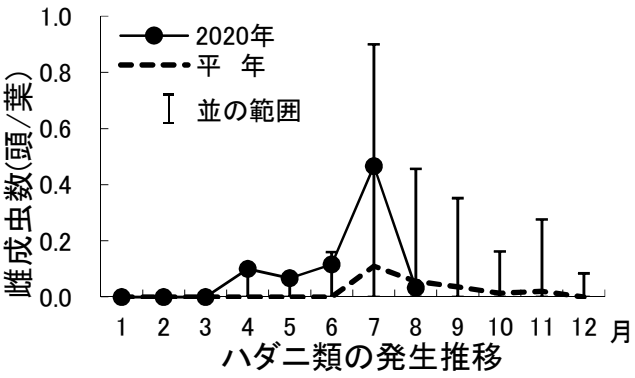
・不要な新梢は本種の発生を助長するので、早い時期に除去する。

令和　2 年度　　9 月予報

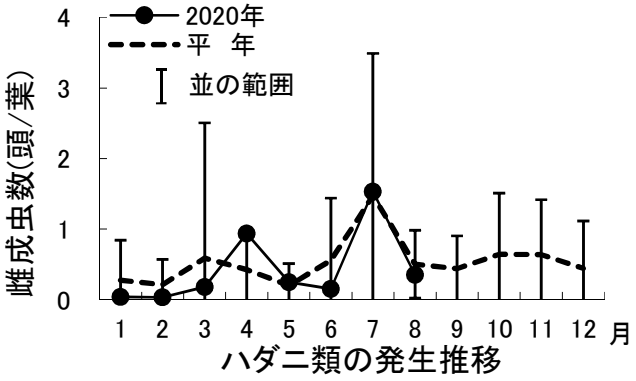
作物	マンゴー		地域	沖縄群島
病害虫名	③ ハダニ類			
調査結果	8 月の発生量（平年比）	並		
予報	8 月からの増減傾向	→		
	9 月の発生量（平年比）	並		
予報の根拠		平年の発生量の推移（→）		

調査結果

〈中央値〉



〈平均値〉



- 発生種：シュレイツメハダニ、マンゴーツメハダニ
- 発生施設率：62.5%（平年値：61.4%）
- 新梢での寄生雌成虫数：0.3頭以下/葉（発生種：シュレイツメハダニ）

防除のポイント

・晩秋にかけて発生が多くなるので、発生ほ場では早期発見・防除を行う。

・薬剤抵抗性を発達させやすいので、同系統薬剤の連用を避ける。

ハダニの寄生による葉のかすれ症